

第一生命グループのガバナンス

第一生命ホールディングス株式会社
社外取締役
前田 幸一

2018/9/7

第一生命ホールディングス株式会社



Dai-ichi Life
Holdings

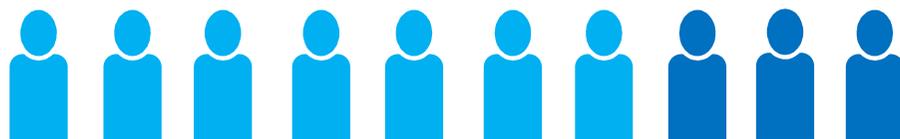
1975年4月	日本電信電話公社入社
2004年6月	エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社 取締役コンシューマ&オフィス事業部長
2006年8月	同取締役ネットビジネス事業本部副事業本部長
2008年6月	同常務取締役ネットビジネス事業本部副事業本部長
2009年6月	東日本電信電話株式会社 代表取締役副社長 コンシューマ事業推進本部長 株式会社NTT東日本プロパティーズ代表取締役社長
2012年6月	NTTファイナンス株式会社代表取締役社長
2016年6月	同取締役相談役
2016年10月	第一生命ホールディングス株式会社取締役(現任)
2017年7月	NTTファイナンス株式会社相談役
2018年7月	NTTファイナンス株式会社顧問(現任)



第一生命ホールディングス

取締役会

取締役(監査等委員を除く)



監査
監督

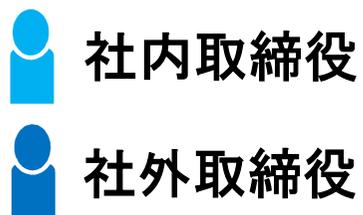
監査等委員会

取締役(監査等委員)



指名諮問委員会

報酬諮問委員会



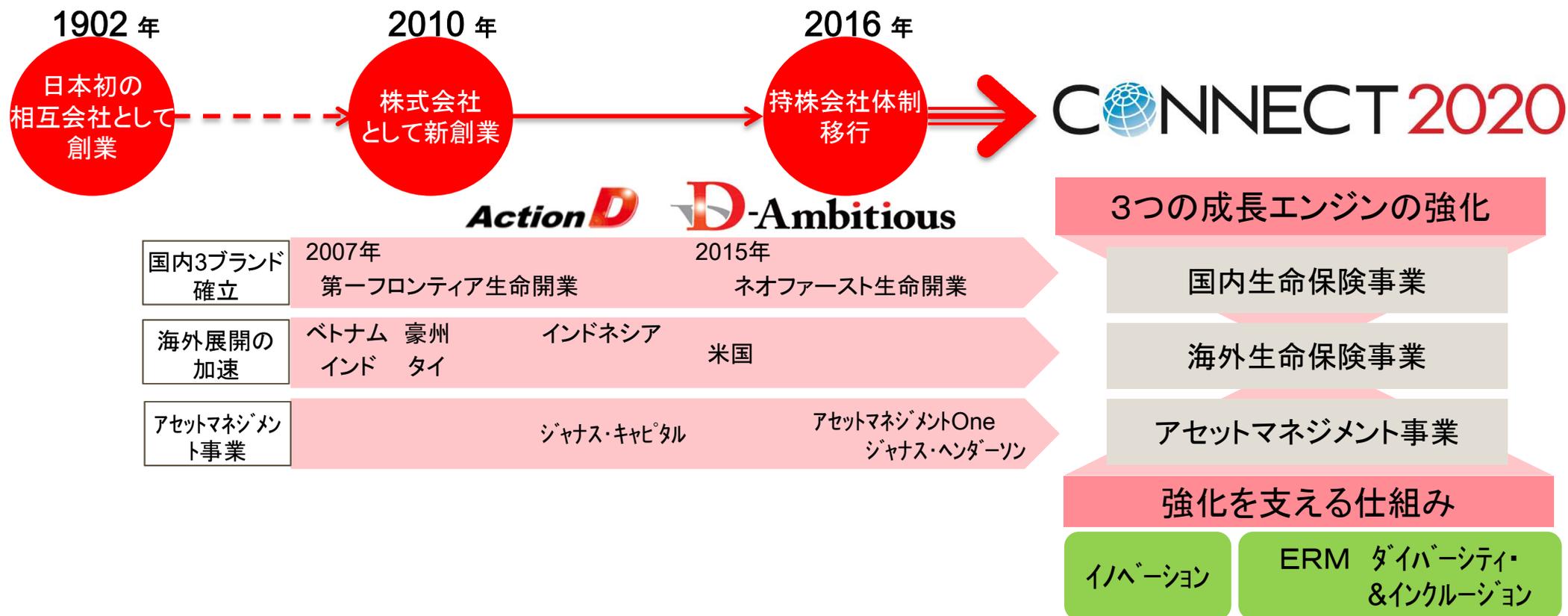
社内取締役

社外取締役

社外取締役: 15名中6名(40%)
うち女性2名、外国籍1名

第一生命グループの中期経営計画「CONNECT2020」

■ 持株会社体制移行後初となる中期経営計画をグループ経営視点で策定



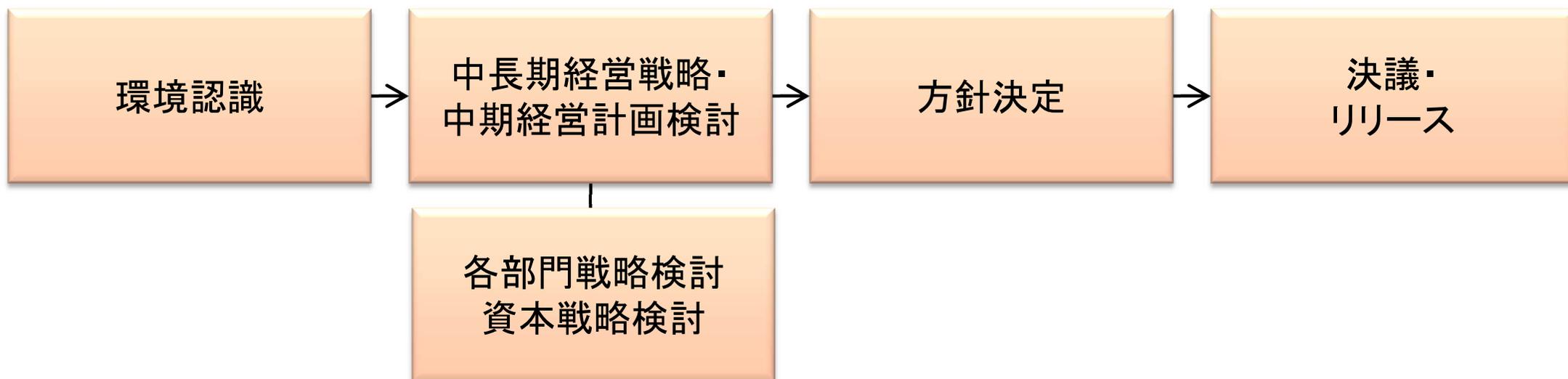
中期経営計画「CONNECT2020」策定プロセスと評価



Dai-ichi Life
Holdings

2017年5月

2018年3月



- 保険本来の公共性を担保しながら成長を実現し、企業価値の持続的成長につなげるべく、基本設計から、監督と執行とがディスカッションを通じて計画を策定
 - ✓ 環境認識・中長期ビジョンの共有
 - ✓ 社外取締役役間、監督と執行間の議論
- 事業基盤の拡大・分散フェーズから、グローバルな事業基盤を生かした成長フェーズへの移行にあたり、CONNECTのコンセプトでグループ経営を推進

- 社外取締役は、中期経営計画「CONNECT2020」等の各種取組が実効性をもって進捗していくことを監督
 - 中期経営計画達成に向けた実効性あるERM
 - ✓ CONNECTをコンセプトとするグループ経営(国内+海外)
 - ✓ グループ経営の視点に立った適切な経営リソースの配分
 - ✓ リスクマネジメント
 - グループシナジー及びイノベーションの創出
 - ✓ シナジーを生み出す体制
 - ✓ Dai-ichi Life Innovation Lab
 - M&Aにおけるガバナンス
 - ✓ 検討初期段階からのERMに基づくチェック
 - ✓ 適切なPMI
 - グループ人財の活用
 - ✓ グローバル人財育成プログラム



(参考) 社外取締役の支援体制

- 社外取締役のより実効性ある審議を確保するための支援体制は充実
- 事業全般についての社外取締役の理解が深化
 - 重要な取締役会案件の事前説明
 - 国内生保事業
 - ✓ 国内3生保トップとの意見交換
 - ✓ 営業拠点視察
 - 海外生保事業
 - ✓ 海外子会社トップ等来日時の意見交換
 - プロテクティブ
 - TAL
 - ✓ シンガポールの地域統括会社視察及び海外関連会社トップとの意見交換
 - スター・ユニオン・第一ライフ
 - パニン・第一ライフ
 - オーシャンライフ